

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 つつじ学園（保育所等訪問支援）

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数

R7年 3月 24日

回収数 4名/10名 40%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			3		対象児の様子、支援計画にのっとり、訪問支援に必要な教具や環境について整えております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	2	1		1		専門性の高い心理職を中心とした支援体制を引き続き整えてまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1				利用児の発達の様子や特性を踏まえた支援を引き続き行ってまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	1				訪問先との連携や情報共有をより密にし、支援計画に基づいた支援について適宜確認し支援提供していただけるよう努めてまいります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3			1		訪問先の状況を確認し、訪問対象時以外の児童への配慮を行って訪問支援を実施しております。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		1	1		児童発達支援の中での行事参加や懇談会等の機会は設けている。保育所等訪問支援としての支援プログラムについては検討してまいります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3	1				訪問報告時の情報共有や相談、共通理解を図っております。必要に応じた情報共有の機会を検討してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1				訪問報告時や定期的な心理指導の際助言等の支援を行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1				引き続き、保育所等訪問支援への保護者ニーズについては適宜吸い上げをしてまいります。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	1				訪問先との連携や情報共有をより密にし、適切な支援、環境を継続していただけるよう努めてまいります。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3		1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1		3		自己評価については令和6年度分より実施が義務付けられています。ホームページでの公表となります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3		1		サービス等情報共有同意書に基づき実施しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2		2		利用契約書に則り行っております。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2		2		利用契約書に則り行っております。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4				
	28	事業所の支援に満足していますか。	4				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月31日

つつじ学園（保育所等訪問支援事業）

利用児童数

9

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9			・日々の保育に即した助言をいただいている。	・今後も具体的に反映しやすい支援について共有させていただけたらと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9			・子どもへの課題が明確になった。	児童の理解の手助けになれば幸いです。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9			・保育士の悩みに対しても適切なアドバイスをいただいた。	今後一緒に問題を考えていけたらと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	1		・保育園での課題とつつじ学園での課題を話し合うことができてよかった。 ・食事介助の仕方など関わりの参考になった。	訪問支援が園での課題解決の一助になればと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9			・保育にすぐに役立てることができた。	今度も児童とそれぞれの園にあった支援を考えていきたいと思っています。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・つつじ学園での様子や課題について知ることができてよかった。 ・活動の切り替えができるようイラストを使うなど、園で取り入れ行うことができた。 ・児童の様子を見ていただき、具体的にお話して下さったので、今後の支援に活かすことができた。 ・児童の成長や課題を共有し、どのような支援が必要か考える良い機会となった。また児童が困った場面での実践的な関わり方を支援員の方に丁寧に教えていただき、園でも取り入れることができた。 ・支援の後も含めて定期的に電話をくれたので、児童の様子について共通の認識をもって訪問支援の日を迎えることができ、その後の目標を定めることができた。 ・園に訪問していただき、こちらからもつつじ学園に訪問させていただいたことで、こどもの状況、対応方法がわかりやすくよかった。つつじ学園で使用しているネームシールを園でも使用し、スムーズに行くよう支援を行った。 ・ご家庭とより共通理解が進みお子様について話がしやすくなった。集団の中での困難さも気付けられない所も教えてくださり、助かった。 ・訪問していただきありがとうございました。今後よろしくお願いたします。 					<ul style="list-style-type: none"> ・多くの園から、訪問支援が児童の理解につながり、訪問させていただいて園での支援に良い効果が出たといったご評価をいただき、大変ありがたいと思います。地域の保育園、幼稚園、学校と連携して児童の支援に当たりたいと思いますので引き続きご協力お願いいたします。 	

事業所名 つつじ学園（保育所等訪問支援）

公表日 令和7年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2	1		半期ごとに業務改善のための相談、検討を行 なっています。引き続き目的を明確にしなが らPDCAサイクルに努めてまいります。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		保護者の意向については、保護者の訪問ニ ーズを吸い上げたうえで訪問支援を実施し、計 画作成等に努めています。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2	1	業務改善のためとしての相談はしておらず、 今までのやり方を踏襲した。	3 同様に半期ごとに業務改善のための相談、検討 を行なっています。引き続き目的を明確にしなが らPDCAサイクルに努めてまいります。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2	1	訪問に関する研修機会はなかったため、 研修受講の機会があるとよい。	保育所等訪問という枠組みの研修について、 検討してまいります。
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	3		最善を尽くしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1	共通理解のもと十分な検討がし切れていな い。支援目標に対しての多角的な意見や視点 の繁榮は少ない。	引き続き、対象児の状況の把握や支援に かかわる職員との日常的なやり取りで多角的 な意見、視点を確認してまいります。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		観察後、訪問先と連携を図り、共通した視点 で計画作成をしている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3		職員間での情報共有を心がけ、 行動観察の様子や環境について の共有を図った。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	インフォーマルな観察が中心。フォー マルな査定ツールはしようしていない。	フォーマルな査定ツールについては、検討し てまいります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	3			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	3		訪問前、後に職員間共有が出来るよう 努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	3				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	1		利用児の状況を把握した職員の参画については、その後の情報共有についてを徹底してまいります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1		7同様、保育所等訪問という枠組みの研修について、検討してまいります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		20同様利用児の状況を把握した職員の参画については、その後の情報共有についてを徹底してまいります。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	実施する必要性は感じている。	利用児が所属している児童発達支援の療育の中で実施しているものはあるが、保育所等訪問としてのプログラムについて検討してまいります。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		保護者からの聞き取りや意向の確認をしてから目標の設定等を行った。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		具体的なエピソードをとおして保護者が理解しやすいよう配慮している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		カンファレンスの方法が電話連携になることがある。	訪問先とのカンファレンスについては実現可能な方法を検討してまいります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つつじ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年3月13日		～ 令和7年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年3月13日		～ 令和7年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月13日		～ 令和7年3月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 0名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理職を中心とした訪問支援員で構成され、専門性が高い。	心理的な視点から環境設定や関わりの工夫について、保護者や訪問先の事業所と共有している。	訪問先事業所のアセスメント力が高められるような支援も検討していく。
2	訪問先事業所以外の過ごしの方の様子を把握した上での訪問支援が実施できている。	訪問先以外の所属事業所担当者から普段の過ごし方や取り組みをしっかりと聞き取った上で、訪問先と共有している。	児童に関わる支援者が直接やり取りできるような機会づくりも考えていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問頻度がなかなか上げられない状況がある。	頻度を増やせる職員体制が取れない。	職員体制について、法人全体で検討していく。
2	対象となる事業所への周知や理解促進。	関係先への本事業の周知活動が不足している。	行政とも連携して関係先への理解を高めていく。
3			